

## 平成25年度 事業報告

平成25年度においては、事業計画に位置づけた事業について、その実施が難しいものも見られたが、公益目的事業として位置付けているサマーセミナー、品質確保のための各種の講習会活動等、協会の定例的事業については、会員の協力を得て円滑に実施することができたとともに、調査研究については、有意義な活動を実施することができ、引き続き今後の研究活動が期待されている。

また、膜構造用フィルムE T F Eに関する告示化については、国土技術政策総合研究所と技術的な協議を行ってきたところであり、早期の実現が期待される場所である。

一方、国土交通大臣から指定を受けて実施している行政代行業としての材料品質性能評価事業や型式適合認定事業は、堅調に推移しているところである。

なお、協会の基本的業務として、会員に対する情報提供、社会に対する膜構造等の普及情報の提供等について、協会ホームページを積極的に活用することにより、充実を図ることに努力した。

### 1 品質及び技術水準の確保向上（技術向上事業）

- (1) 「膜構造用フィルムE T F E」の円滑な導入に必要な膜構造建築物に関係する3つの告示について、国土交通省国土技術政策総合研究所と技術的な協議を継続的に行った。
- (2) 「仮設空気膜構造建築物」の円滑な整備が推進されるよう、特定行政庁等の集まりである建築行政会議構造部会分科会に対して、円滑な許可手続きを行うよう要請するとともに、協会の作成した「仮設空気膜構造建築物技術規準（案）」の活用について提案した。
- (3) 天井の安全性確保に寄与する、膜材料の軽量柔軟性を生かした「膜天井」の整備を促進するため、膜天井研究会を開催し、「膜天井」を導入する際の設計方針、発注者・管理者との意思の疎通と確認等をまとめた「膜天井技術指針」の検討を行った。  
また、膜天井の円滑な導入が図られるよう、膜天井事例集の検討を行った。
- (4) 「定期点検者講習」を7月5日に実施し、23名が講習後の考査に臨み、23名全員を合格として登録し、更にホームページに掲載した。  
(現在登録者数 105名)
- (5) 「膜施工管理技術者講習」を10月3日及び4日の両日に実施し、3名が講習後の考査に臨み、全員を合格（S種3名）として登録し、更にホームページに掲載した。  
(現在登録者数S種53名、M種14名、R種2名、計69名)

## 2 技術発展のための調査研究の推進（調査研究事業）

- (1) 膜構造建築物における「エネルギーの使用の合理化に関する法律」への対応の検討、膜材料の環境性能の表示のあり方の検討に寄与するよう、設計実務者による講演会を開催した。（別掲）
- (2) 設計実務への反映を目指し、多彩なフォームをもつ膜構造建築物に相応しい風力係数の提案を行うため、風力係数研究会を設置し調査研究を実施した。
- (3) 技術発展の基盤を整備するため、「膜構造研究論文集2013」を刊行すべく準備を行った。
- (4) 2012年度膜構造研究論文賞を秋田 剛氏（千葉工業大学准教授）に授与した。  
受賞対象：「インフレーターブルビームの設計およびしわ発生後の応力場解析に関する一連の研究」

## 3 普及情報事業の推進（技術情報事業）

- (1) 膜構造建築物等に関する技術の普及と会員等の知識の向上を図るため、以下の講演会を開催するとともに、見学会の準備を行った。
  - ① 記念講演会を、5月24日通常総会後に開催した。  
『光エネルギーを利用する新技術 ー光触媒と田んぼ発電ー』  
講師：東京大学大学院教授 橋本 和仁氏
  - ② 「サマーセミナー・夢空間2013」を、9月10日に開催した。  
『海外における膜構造関係者の連携活動について』  
講師：東京大学生産技術研究所教授 川口 健一氏  
『膜の熱的特性と低炭素建築の動向』  
講師：株式会社日本設計環境設備設計群グループ長 井田 寛氏
  - ③ 膜構造の一層の普及を図るため、関係団体との共催等による、設計事務所、地方公共団体等の担当者向けの膜構造に関する講習会、見学会の開催の準備を行った。
- (2) A～C種膜構造建築物及びテント倉庫の施工実績、膜材料の出荷実績に関する『膜構造事業実績』の定期アンケート調査を実施し、会員の事業戦略の参考に供した。
- (3) 協会ホームページの定期的なアップデートや『膜協だより』を時機に応じて掲載するとともに、関連する法令の改正情報等を適宜掲載した。  
また、『サマーセミナー』の講演資料を「会員ページ」に掲載するとともに、「環境に貢献する膜構造の技術開発」報告書を一般に公開した。

## 4 性能評価等の行政代行事業等の実施

- (1) 指定性能評価機関として、6件の膜材料について性能評価を実施した。
- (2) 指定認定機関として、32件の膜構造の建築物等について型式適合認定の審査を実施した。なお、国土交通大臣により平成26年1月9日から5年間の指定認定機関の更新指定を受けた。
- (3) 膜構造技術審査（任意）を、3案件について実施した。

## 5 その他協会の目的に合致する事業の実施

会員相互、関係団体の交流・親睦を図るため、『賀詞交歓会』を1月9日に開催した。

## 6 会議の開催状況

### (1) 総会

平成25年度通常総会を5月24日に開催し、平成24年度事業報告及び決算を承認するとともに、理事の選任を行った。また、平成25年度事業計画及び収支予算、平成24年度公益目的支出計画実施報告書を了承した。

### (2) 理事会

#### ① 第1回通常理事会（平成25年5月8日）

平成24年度事業報告及び決算、理事の選任候補者、平成24年度公益目的支出計画実施報告書等を審議し、総会に付議する事項を議決した。

#### ② 第2回臨時理事会（平成25年7月1日。書面開催）

第3種正会員3名の入会を可とする決定を行った。

#### ③ 第3回臨時理事会（平成25年11月27日）

型式適合認定委員会規程の改正、上半期の事業実施状況、理事の職務実施状況等についての審議を行った。

#### ④ 第4回通常理事会（平成26年3月12日）

平成26年度事業計画及び収支予算、正会員の入会の可否の決定、膜体加工工場登録規程の改正等についての審議を行った。

### (3) 企画運営委員会

「企画運営委員会」を4回開催し、理事会への付託案件、平成24年度事業報告及び決算、平成24年度公益目的支出計画実施報告書、平成26年度事業計画及び収支予算、協会の運営、事業活動における課題等についての討議を行った。

### (4) 品質委員会

「維持保全専門委員会」を5回開催し、定期点検報告書34件を審査した。

### (5) 普及情報委員会

「普及情報委員会」を2回開催し、「サマーセミナー」、「膜構造施設見学会」などの実施に関する討議を行った。

### (6) 性能評価委員会

「材料品質性能評価委員会」を3回開催し、膜材料6件についての性能評価を行った。（再掲）

### (7) 型式適合認定委員会

「型式適合認定委員会」を12回開催し、32件についての審査を行った。（再掲）

(8) 膜構造技術審査委員会

「膜構造技術審査委員会」を3回開催し、3案件についての審査を行った。

(再掲)

6 会員の動向

	平成 25 年度末	平成 24 年度末	
第 1 種正会員	1 8 社	1 7 社	( 1 会員増)
第 2 種正会員	1 8 社	1 8 社	
第 3 種正会員	9 5 名	9 4 名	( 3 会員増、 2 会員減)
第 4 種正会員	6 社	7 社	( 1 会員減)
合 計	1 3 7 会員	1 3 6 会員	( 4 会員増、 3 会員減)